




# 焼物シリーズ窯元

## (西日本編)



Map	陶磁器産地	窯元	焼物の一例	産地の概要
●	岡山県 備前焼 びぜんやき	山麓窯 さんろくがま		備前焼とは 中世から現在まで生産が続く代表的な6つの窯の総称である日本六古窯※(ろっこよう)の一つに数えられる。おもに壺・かめ・すり鉢などの日常品が多く焼かれた。室町時代から桃山時代には茶道の広がりとともに茶陶としての人気が高まっていった。
●	徳島県 大谷焼 おおたにやき	森陶器 もりとうき		大谷焼とは 江戸時代後期、四国八十八カ所霊場の巡礼に来た豊後の国(大分県)の焼き物細工師・文右衛門が、大谷村において、蟹ヶ谷の赤土で作ったのが大谷焼の起源とされている。
●	佐賀県 唐津焼 からつやき	鏡山窯 きょうざんがま		唐津焼とは 室町時代末から桃山時代にかけて、岸岳城主波多氏の領地で焼かれたことが始まりとされている。その後、豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に、朝鮮陶工を連れて帰り、その陶工たちが各地で窯場をつくり焼き始めたことで、唐津焼の生産量は拡大していった。
●	佐賀県 伊万里焼 いまりやき	太一郎窯 たいちろうがま		伊万里焼とは 有田周辺で焼かれた磁器は伊万里津(津とは港のこと)に運ばれ、船で積み出された。伊万里から積み出されたため「伊万里焼」と呼ばれる。
●	佐賀県 伊万里焼 いまりやき	文祥窯 ぶんしょうがま		現在では、当時の伊万里焼と現代の伊万里市内で焼かれている伊万里焼を区別するため、江戸時代に焼かれたものは「古伊万里」と呼ぶ。
●	佐賀県 有田焼 ありたやき	琥山窯 こざんがま		有田焼とは 1616年の季参平による泉山陶石の発見に始まると言われている。
●	佐賀県 有田焼 ありたやき	ヤマト陶磁器 やまととうじき		季は1597~1598年の慶長の役で、鍋島軍が朝鮮からの引き上げの際に日本に連れ帰った陶工。
●	長崎県 波佐見焼 はさみやき	平三窯 へいざぶがま		波佐見焼とは 当初は青磁を生産していたが、やがて青藍(せいらん)色の顔料で簡単な草花文などを描いた染付など、江戸時代から大衆向けの食器を巨大な登窯で多量に焼いてきた。著名な産地である有田の陰に隠れているが、当時から染付磁器の生産量は日本一であったといわれ、18世紀以降の江戸時代の遺跡から出土する磁器は、その大部分が波佐見焼であると推察される。



日本には伝統を受け継いだ  
素晴らしい窯元がたくさんあります。  
その焼物を眺めながら  
植物を育ててみませんか？

※日本六古窯

瀬戸焼(愛知県)、常滑焼(愛知県)、  
越前焼(福井県)、信楽焼(滋賀県)、  
丹波立杭焼(兵庫県)、備前焼(岡山県)



和田電器株式会社

URL <http://www.wadatechno.co.jp>

# 水耕栽培 焼物シリーズ 備前焼(岡山県) 山麓窯

## WA-201Lに焼物シリーズWA-201C登場

岡山県 備前焼 山麓窯 のおもむきある陶器

### 光源にLED導光板照明を採用

LED光源を平面型の導光板に照射させることで、植物に光が均一にあたります。

### 水耕栽培はじめての一步として

水耕栽培にご興味をお持ちの方は、このセットからはじめてみては・・・。



#### ●導光板照明ユニット

材質&サイズ 【mm】	底板:木(W300×D250×H15) 軸棒:鋼(底板からの長さ463) 導光板:アクリル+アルミ (W150×D210×H10)
電源	入力:AC100V 出力:24V1A
消費電力	10W
照度	3,000ルクス(光源から200【mm】)

#### ●陶器

焼物種類	備前焼(岡山県)
窯元	山麓窯
サイズ 【mm】	直径 約140(上部外寸) 高さ 約56

☆焼物シリーズ WA-201C

〒571-0034

大阪府門真市東田町16-18



和田電器株式会社

☎06(6900)8008

URL <http://www.wadatechno.co.jp>